レンズの向こう



keisukedayo

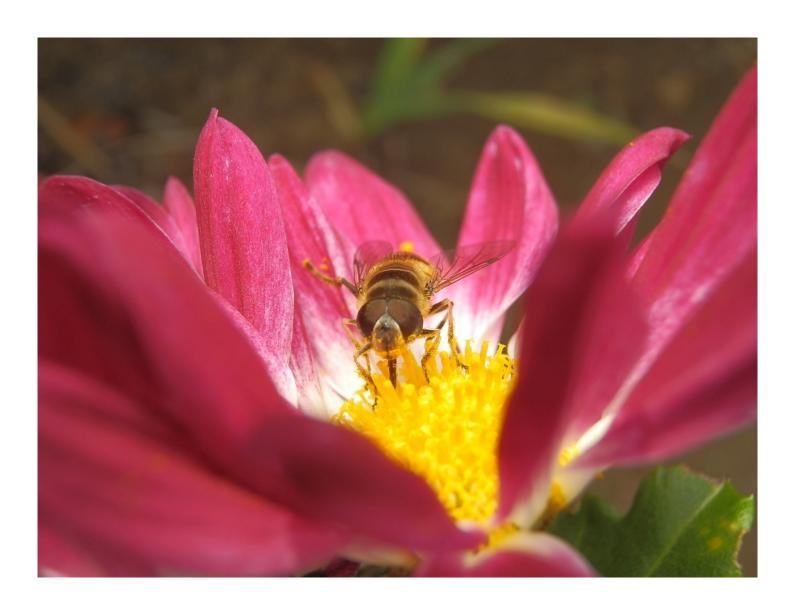
御覧いただきまして ありがとうございます。

この写真集は、撮る物のテーマを決めずに、 カメラのレンズを通して見たモノを見たままに撮った写真集です。 タイトルを 「レンズの向こう」 としました。

大好きな「雲」の写真をはじめとして 以前撮ったものの、発表の場が無く バソコンやメモリーカードに眠っていた写真なども含めた 時と場所を越えた写真集です。

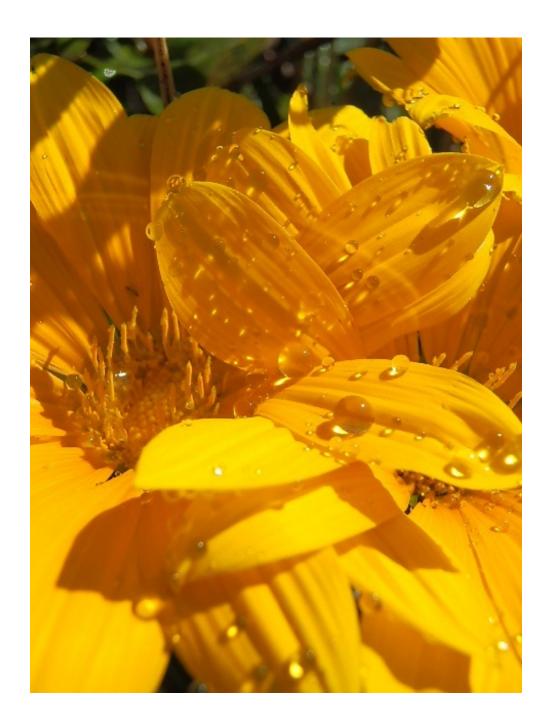
随時 写真を追加して行きます。

keisuke

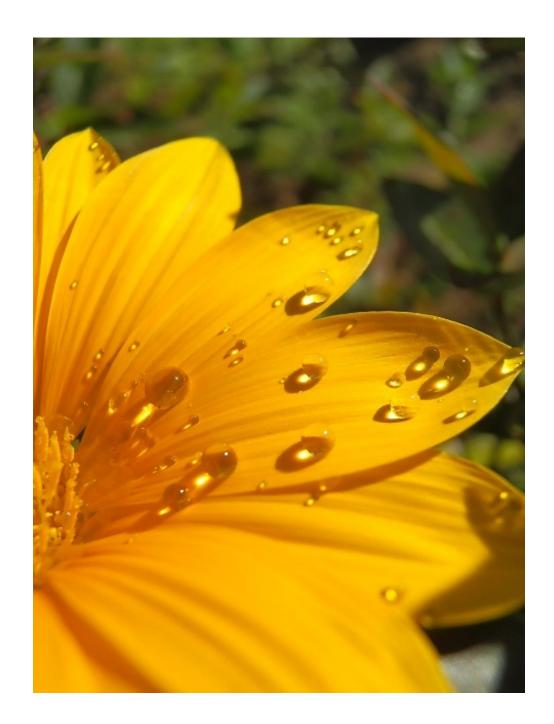


庭の花に水やりをした後、ふと見ると花びらが水を弾き 綺麗な水玉が出来ていたので、撮ってみました。







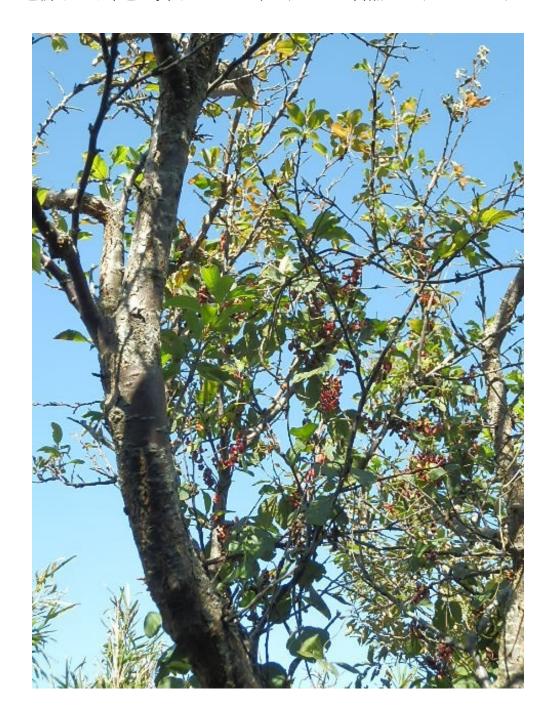




タンキリマメ(痰切豆、学名: Rhynchosia volubilis)は、マメ科タンキリマメ属のつる性多年草和名は、種子に痰を止める作用があるという俗説から



色鮮やかな朱色の莢をまとった木は、まるで自然のクリスマスツリー

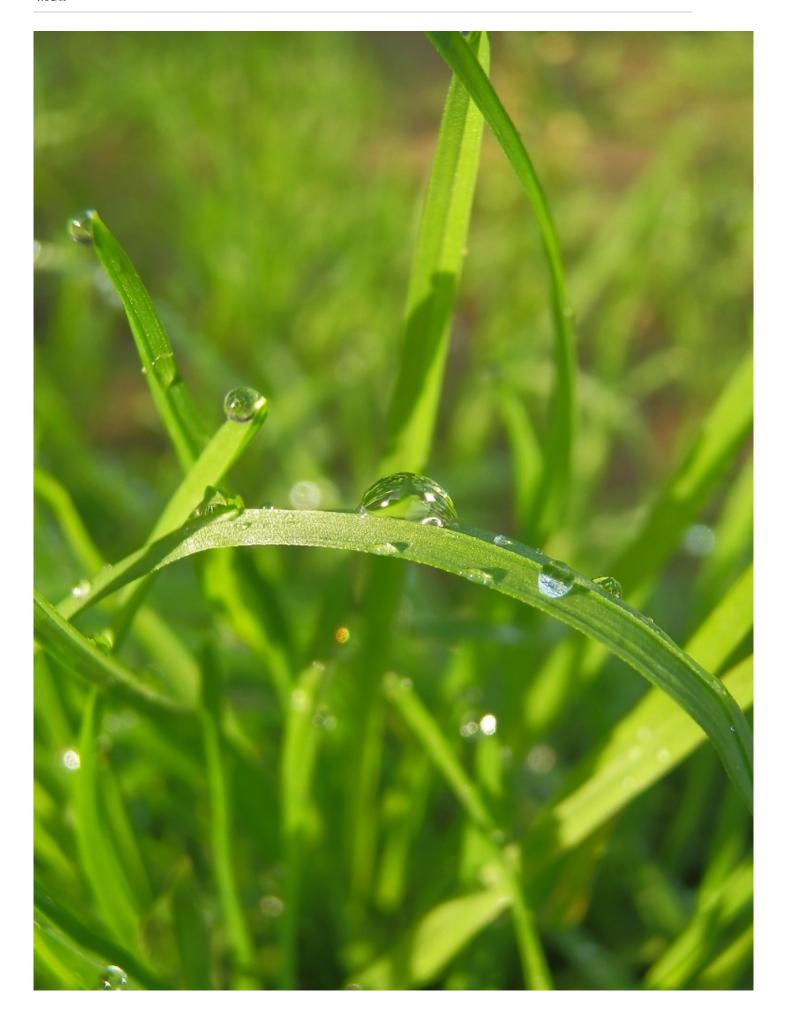


2012年11月4日 撮影

スズメ(雀、すずめ、学名 Passer montanus)は、スズメ目スズメ科スズメ属に分類される鳥類の1種。

北海道から沖縄まで見られるが、いくつかの離島(小笠原諸島、他)には分布していない。 生息地は、都市、農村、里などの人の居住域付近であり、人間が住み始めた集落にはスズメも居 着き、逆に人間が離れ集落が無人になるとスズメも見られなくなるという傾向がある。





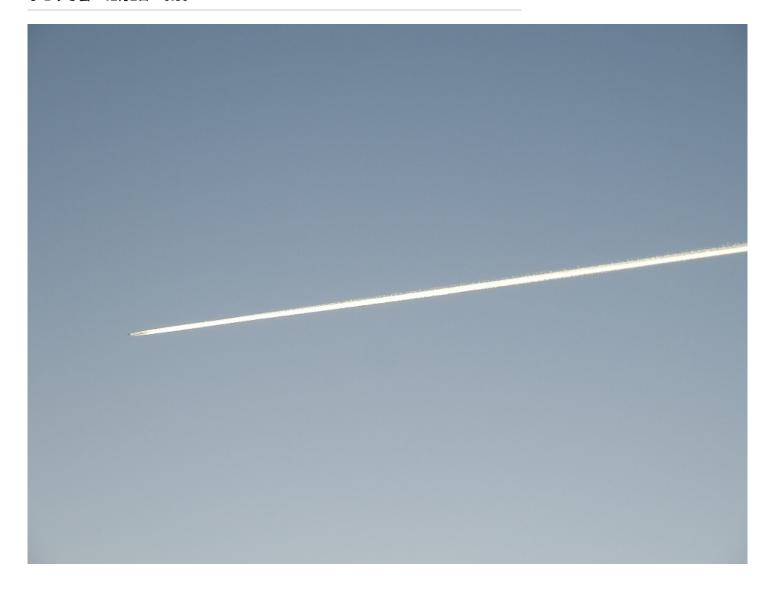


11月25日 11:56 水戸偕楽園、梅桜橋から











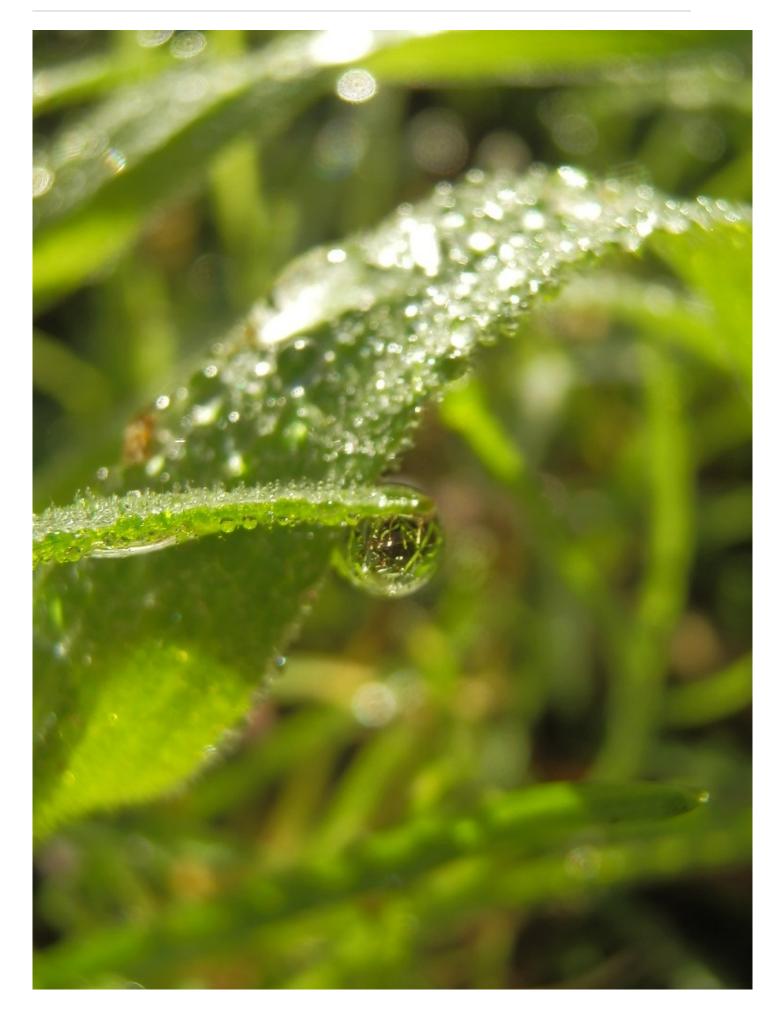
冷え込んだ朝、この冬はじめての氷が張りました

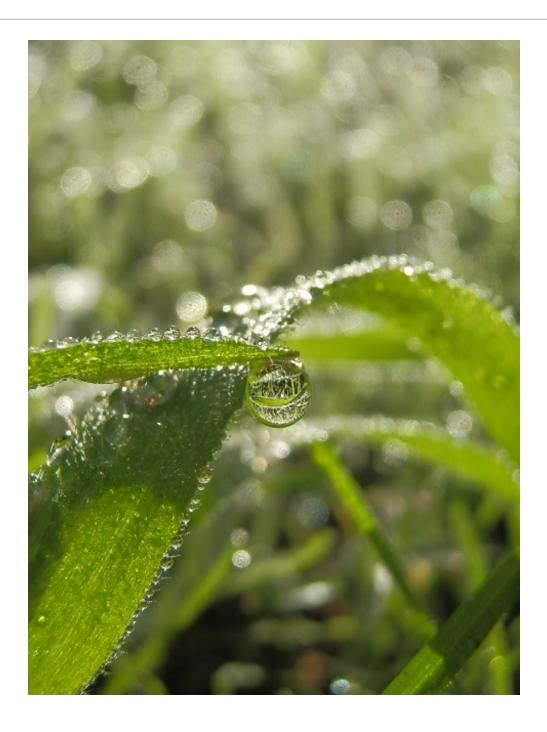


利根かもめ大橋、照明器具の上に一羽ずつ乗ったカモメたち





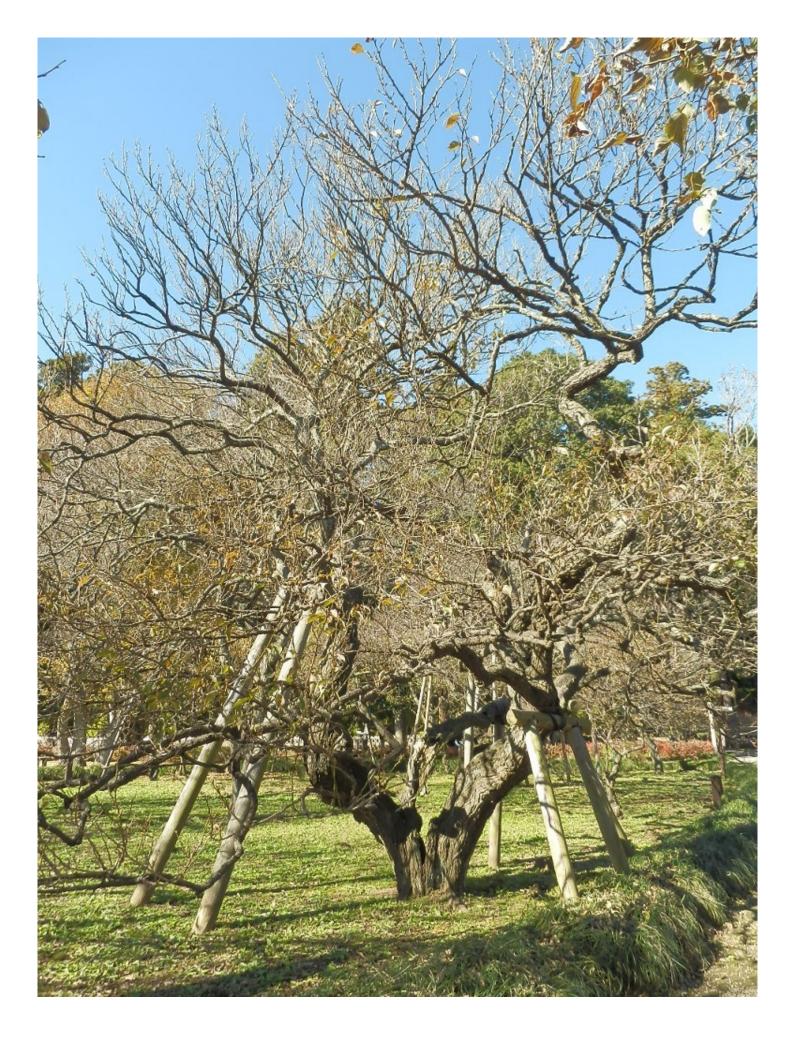




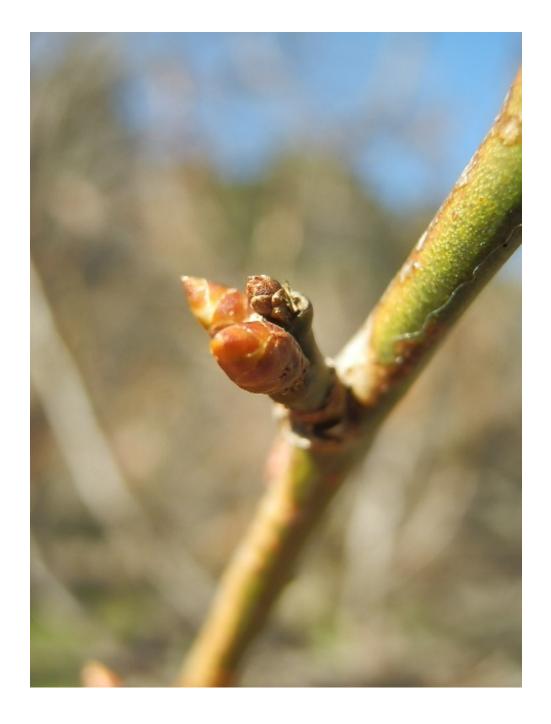
「こんな老木になっても 春だけは忘れないんだ 御覧よ まあ、紅梅だよ」 大好きな詩人、山村暮鳥が偕楽園を訪れた際 残した詩です



「おい、そつと そつと しづかに 梅の匂ひだ」



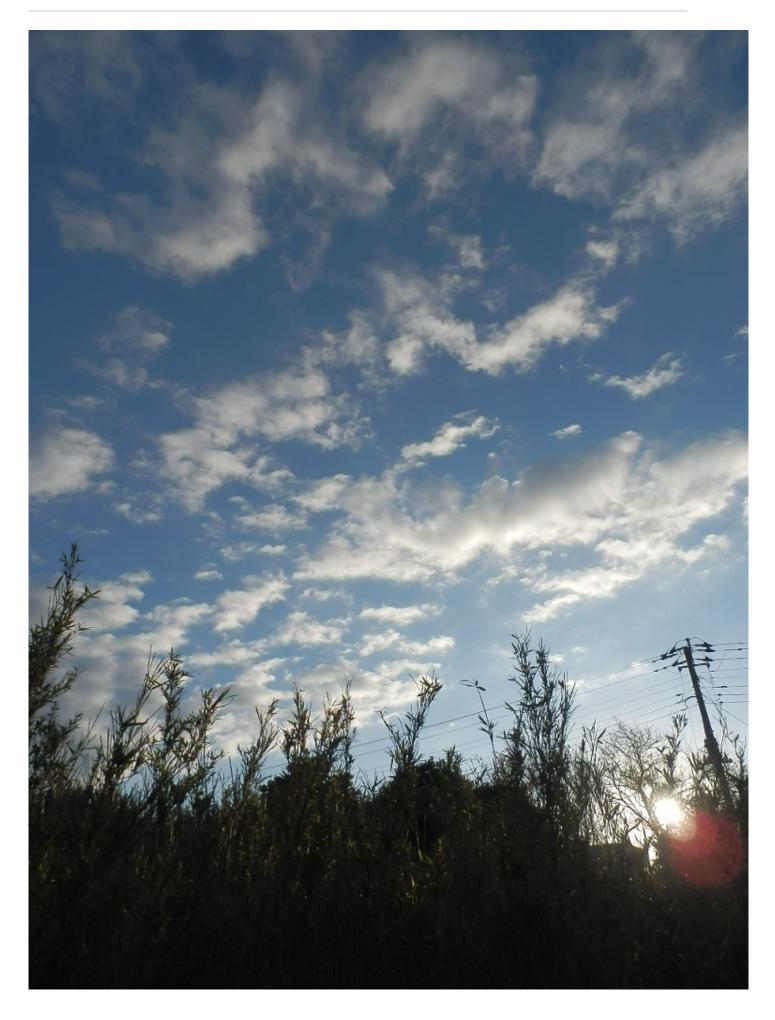
「大竹藪の眞晝は ひつそりとしてゐる この梅の 小枝を一つ もらつてゆきますよ」









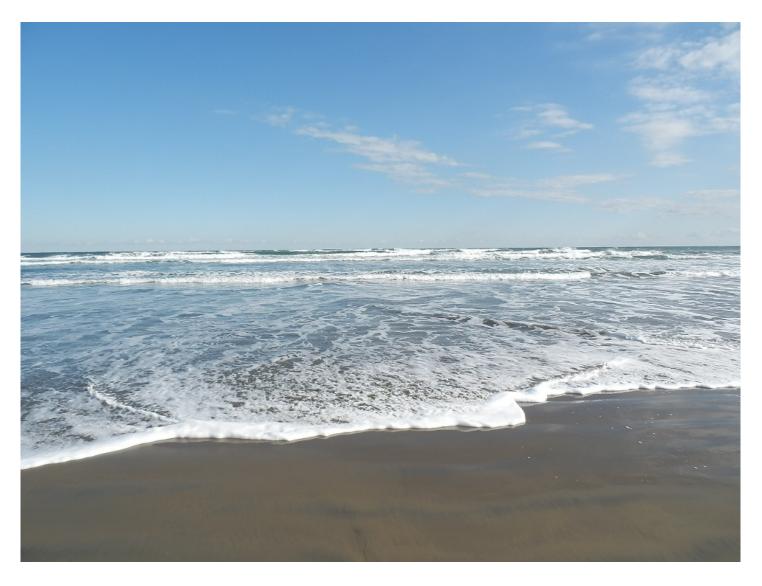


鹿島灘(かしまなだ)は、茨城県東部の大洗岬~千葉県東部の犬吠埼に広がる太平洋の海域で、 灘と地名が付く海域では東端に当たります。

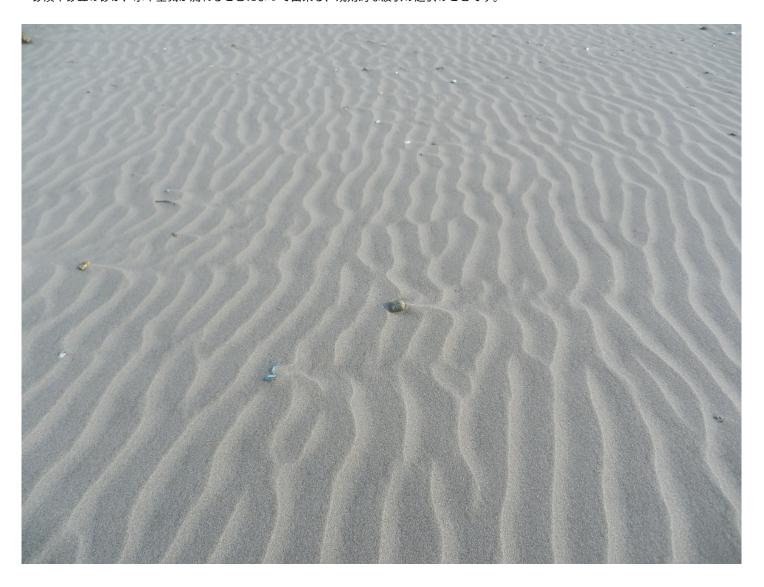


AM 10:11

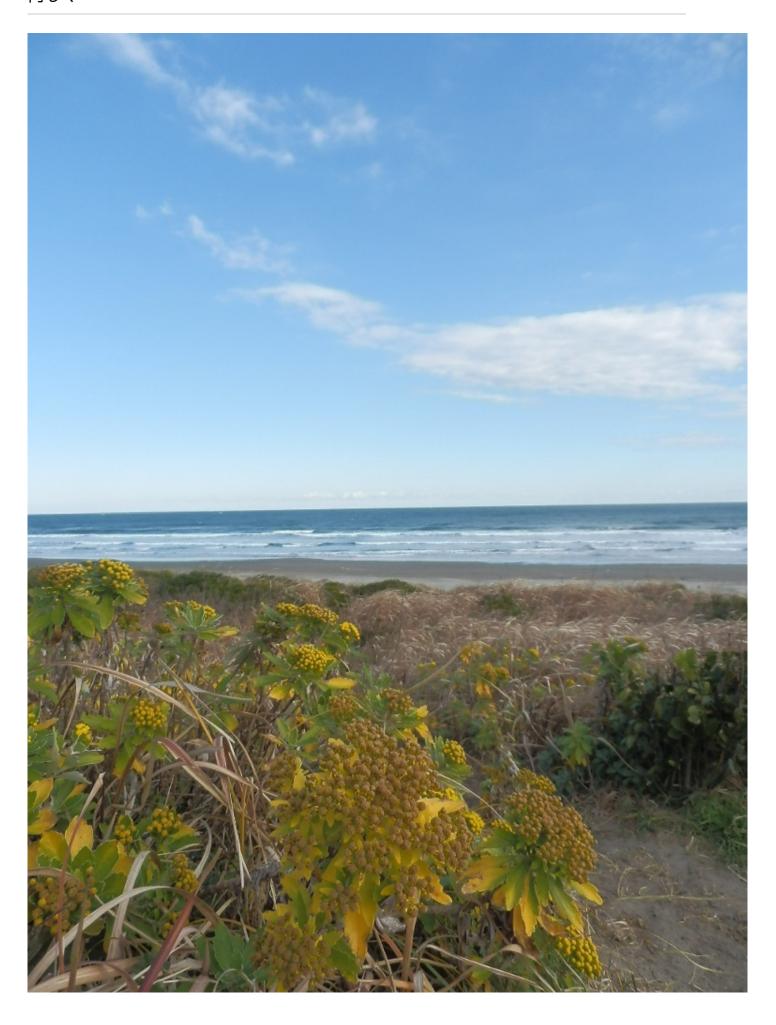
身を切るような冷たい風が吹いていました。

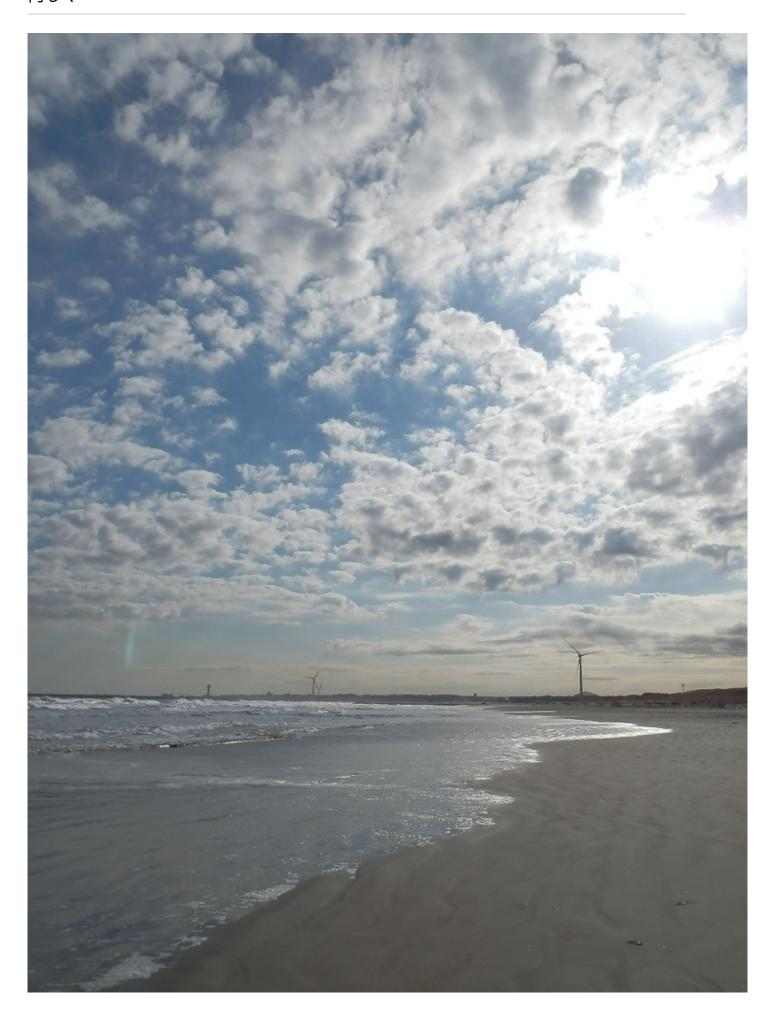


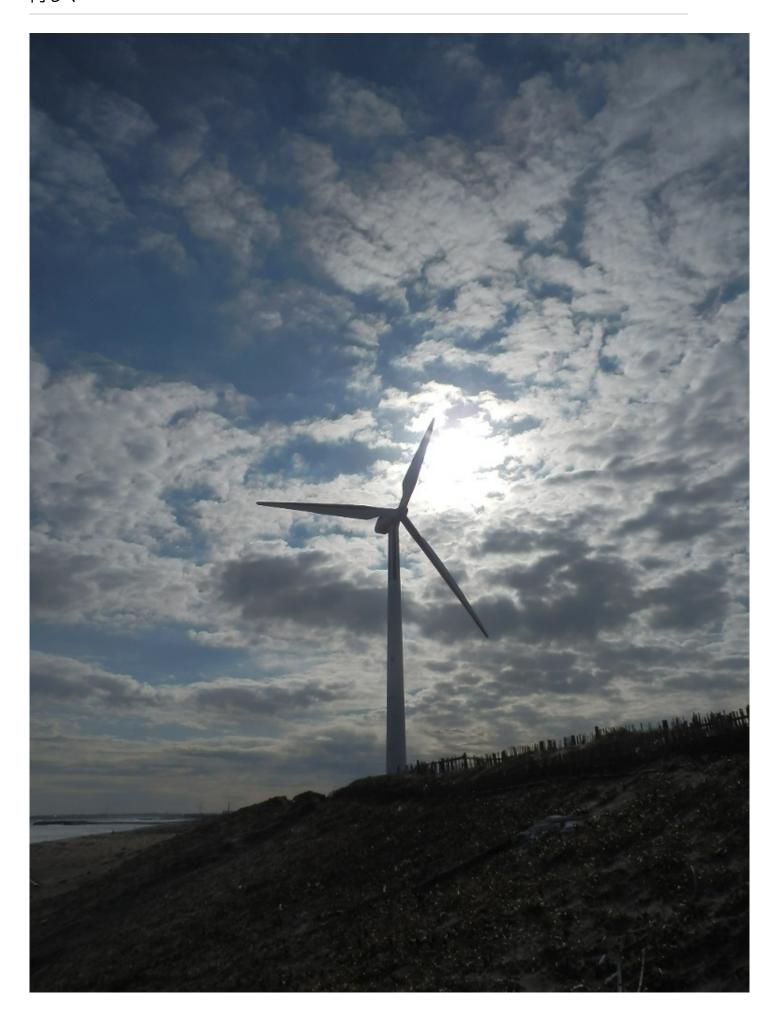
風紋(ふうもん) または、砂紋(さもん、英:Ripple marks)と呼ばれるもので 砂漠や砂丘の砂が、水や空気が流れることによって出来る、規則的な波状の起伏のことです。

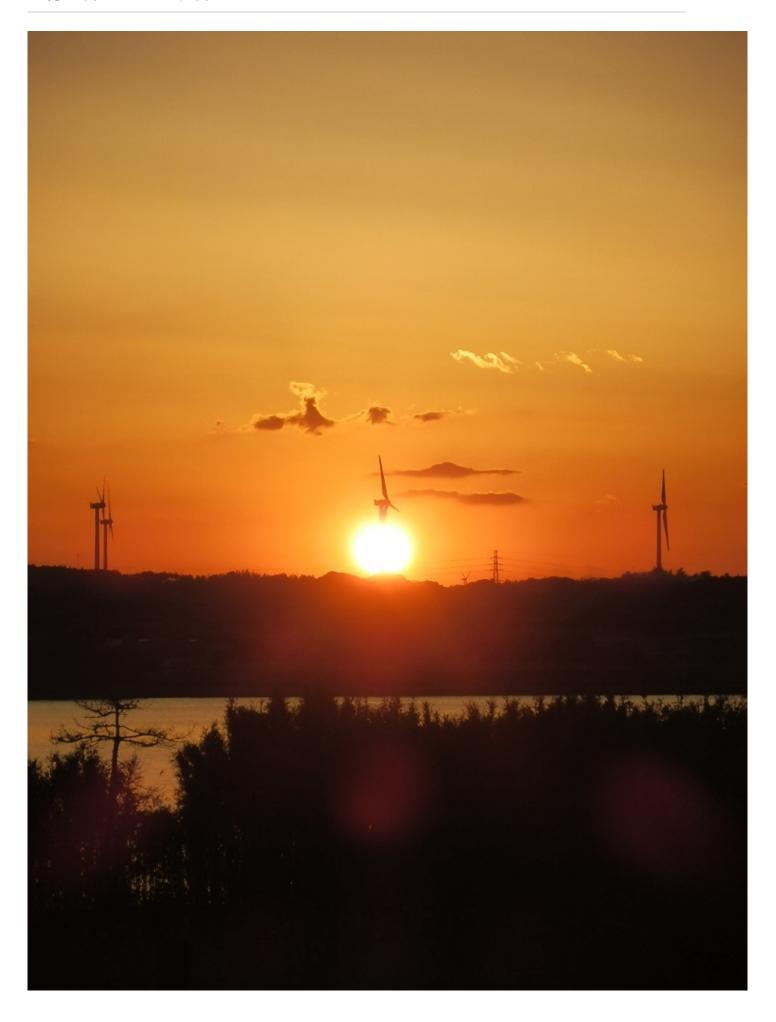




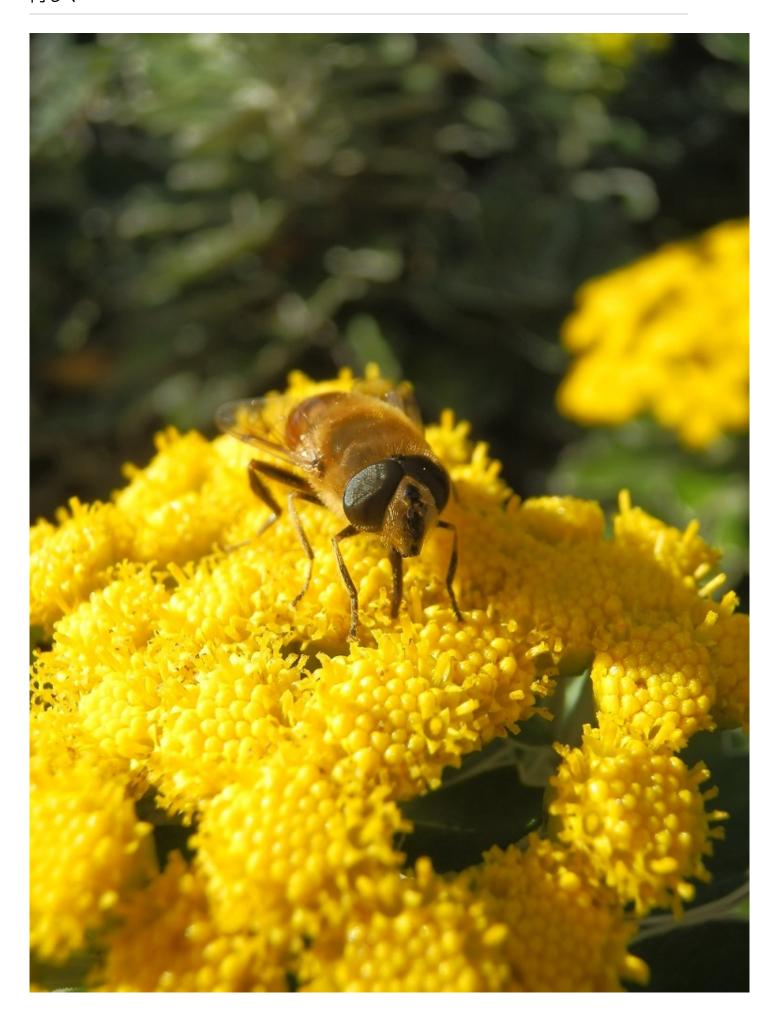


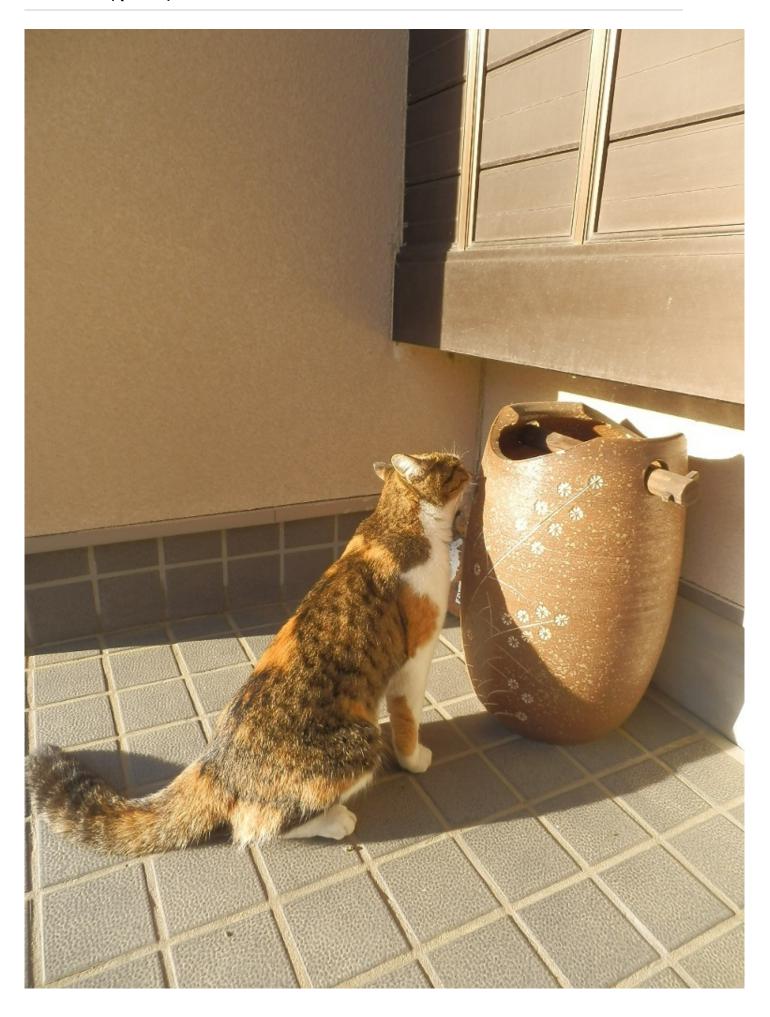


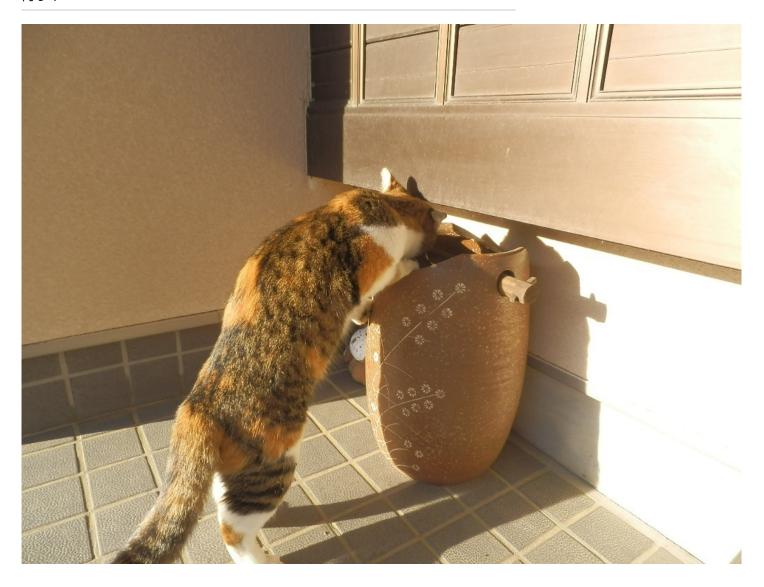


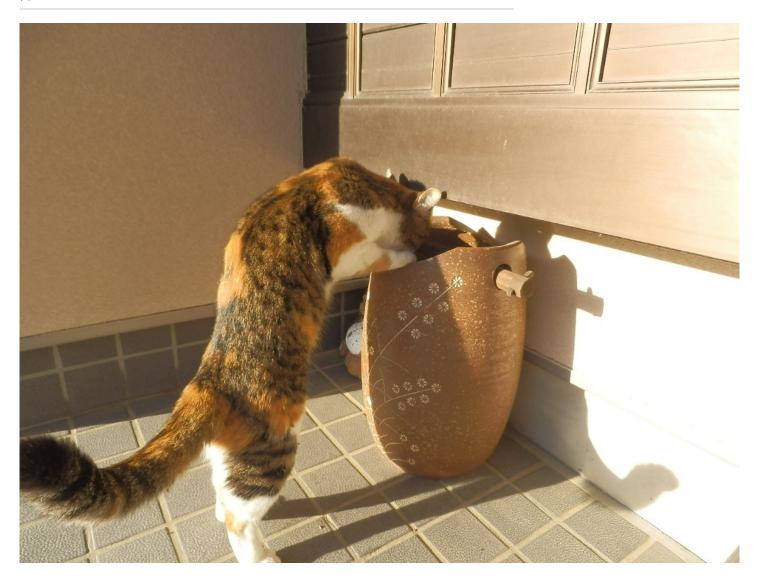


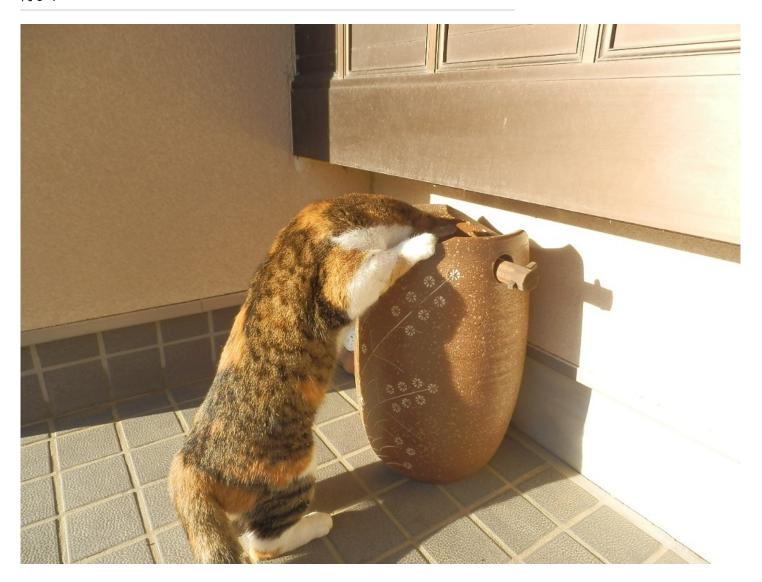












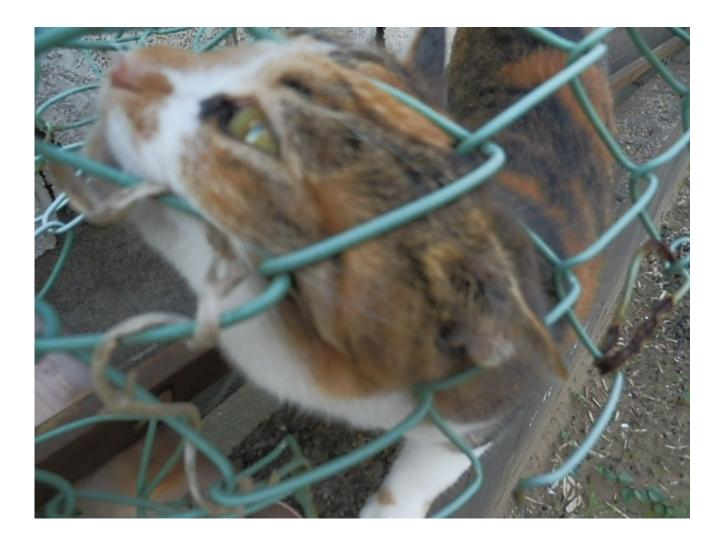






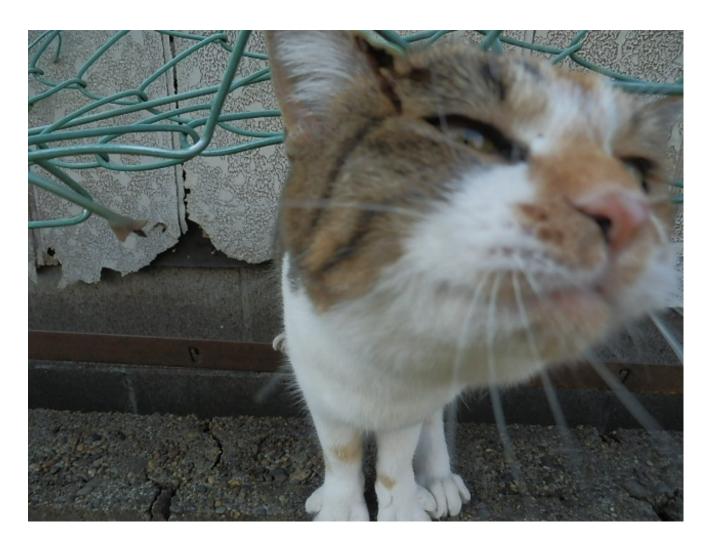


どうしても出られない



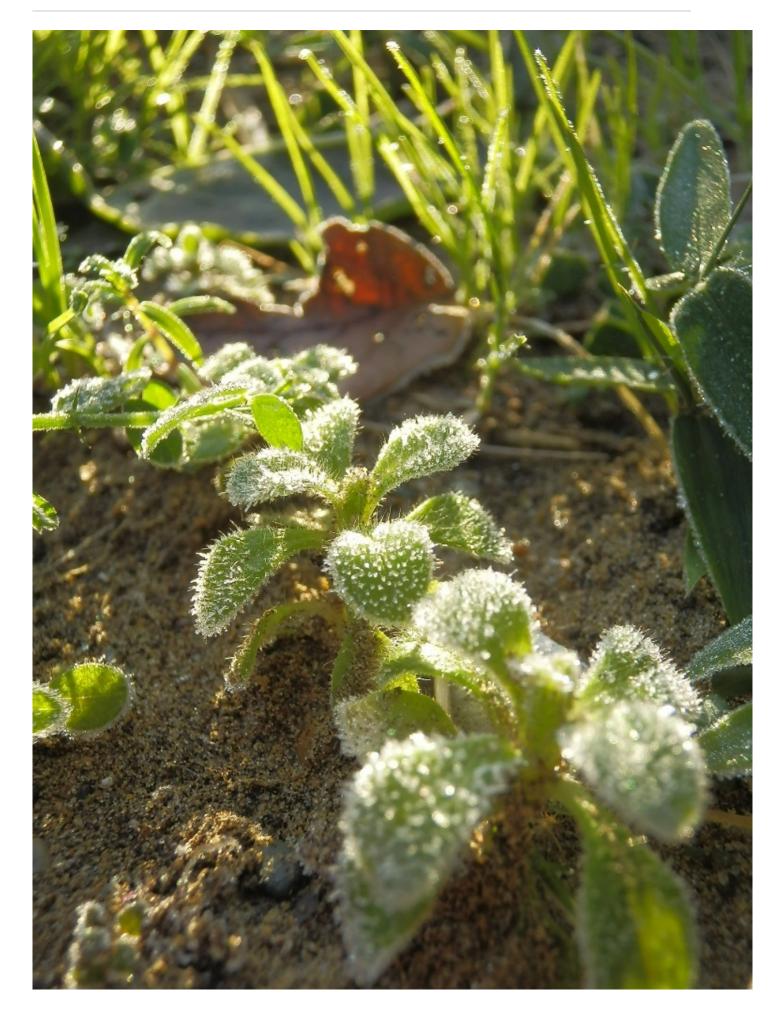
残念!! すぐ脇は大きく開いているのに~(笑)

やっと見つけた。 ε-(;-ω-=) フゥ...



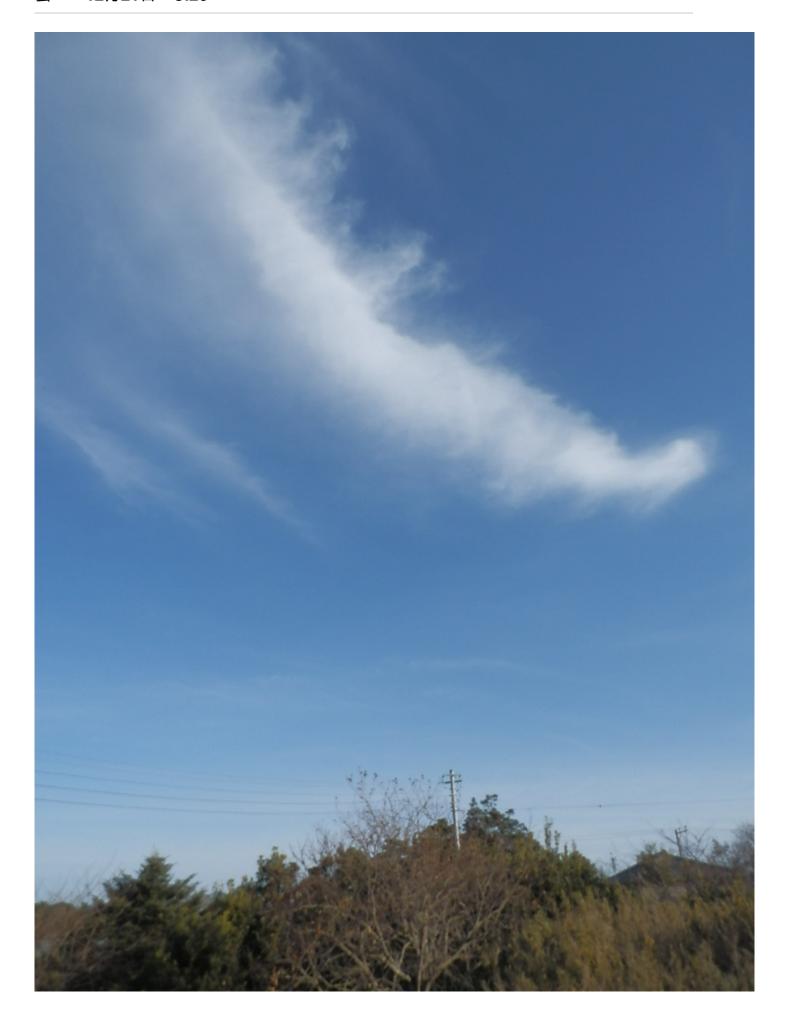
メジロ(学名 Zosterops japonicus)はスズメ目メジロ科メジロ属の鳥の一種。 全長約12 cm、スズメよりも小さく、翼開長は約18 cm、目の周りの白い輪が特徴。



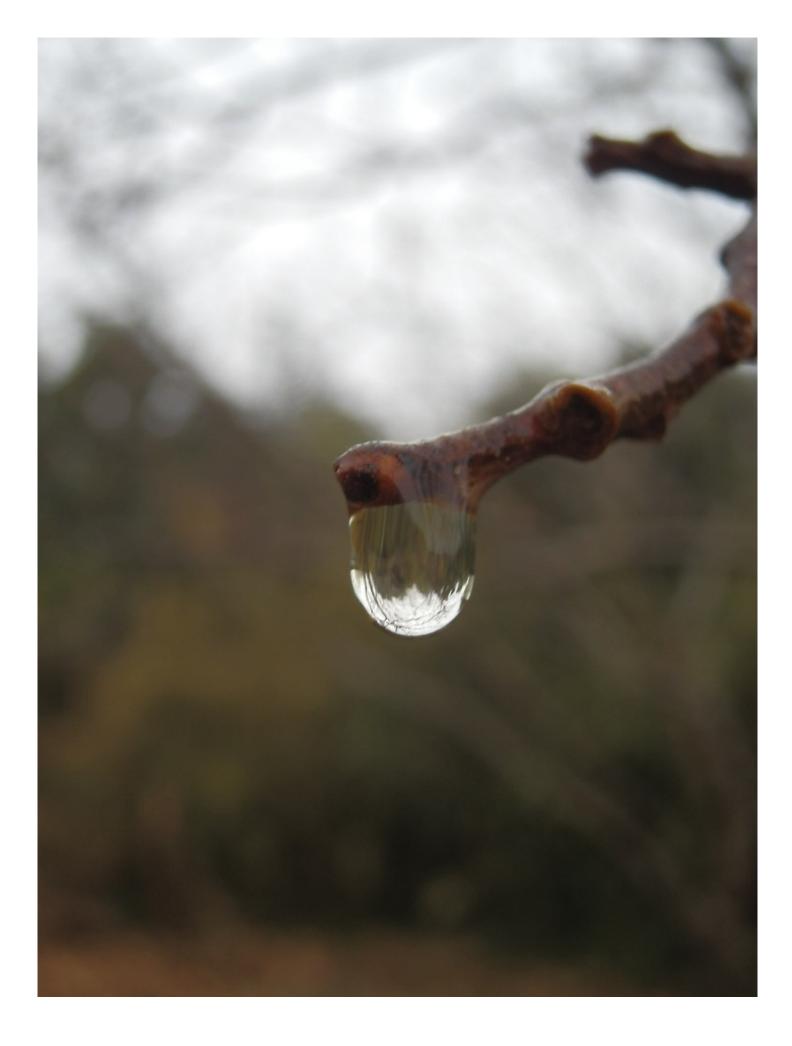


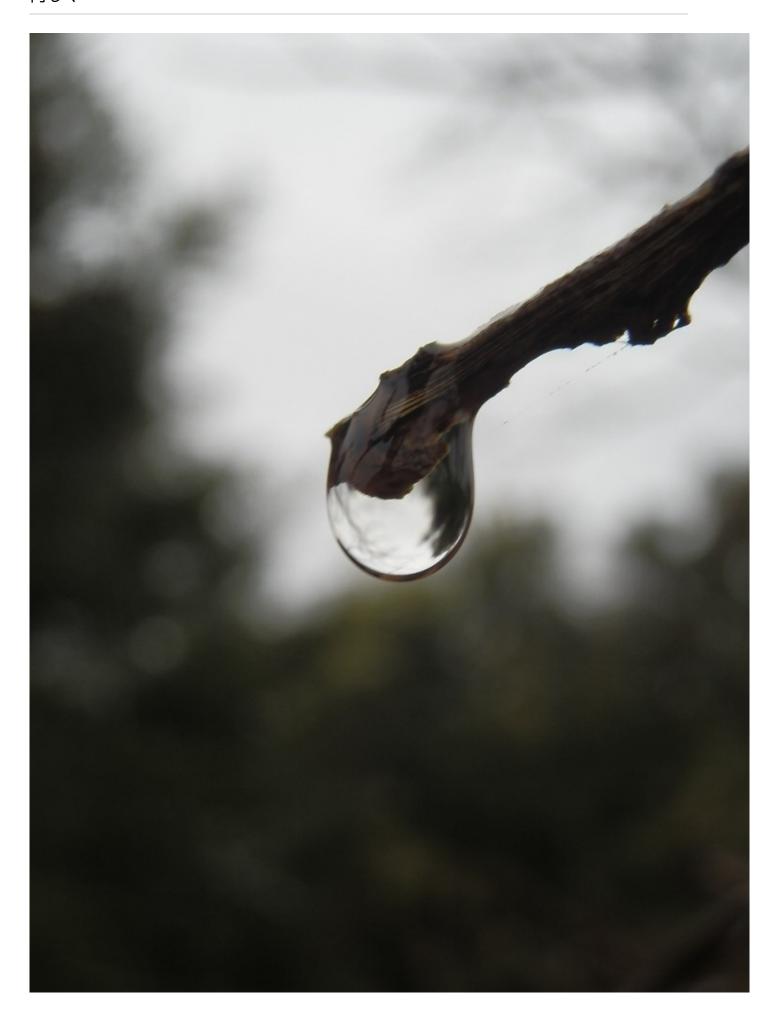






木の枝に付いた 雨の滴(しずく)

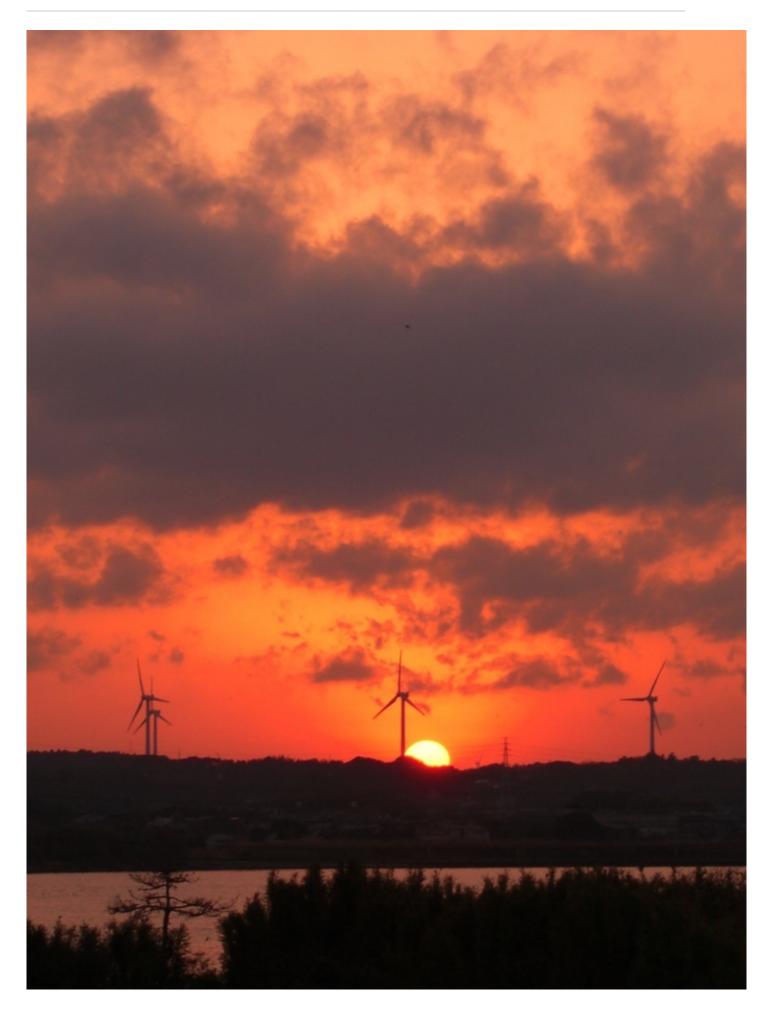




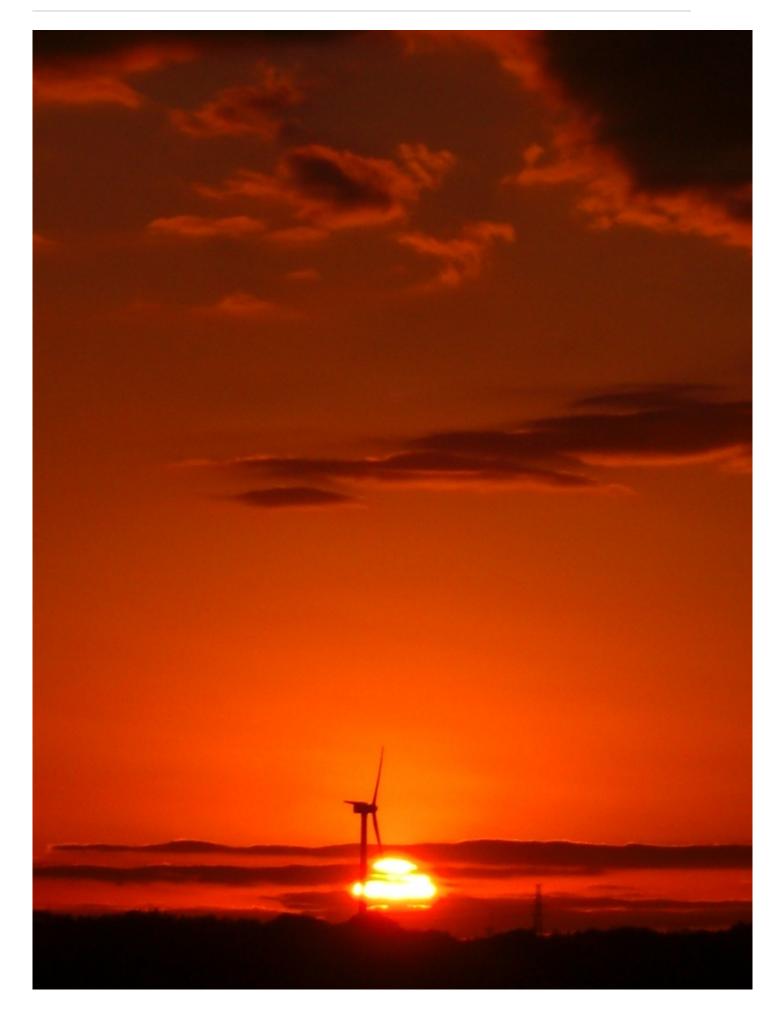
軒先から落ちた雨水がフェンスの枠に当たり、弾けた瞬間













西空の夕焼けを受けて染まる 東の空。